

生研 ニュース

PHOTO 倉科満寿夫

IIS NEWS
No.125
2010.8

●情報・エレクトロニクス系
部門 教授
合原 一幸

IIS
TODAY

鮮やかな蝶のコレクションと一緒に写っていただいたのは本所情報・エレクトロニクス系部門教授の合原一幸先生です。合原先生秘蔵の蝶は大変珍しいものとのことですが、「いつか蝶の翅のきれいなパターンの発現を遺伝子とタンパク質のネットワーク理論から探りたいと思っています」と、先生の豊かな発想の源泉にもなっているようです。ご専門のカオス理論には「バタフライ効果」という有名な表現もありますから、子ども時代から昆虫学者になるのが夢だったという先生と蝶のちょっと意外なご縁はとて深いようです。

今年の3月に設立された、本所最先端数理モデル

連携研究センターのセンター長としても活躍されている合原先生ですが、「国内外の数学者・数理工学者や現実の問題を知っている応用分野の研究者が気軽に訪れ、研究がお互い発展できるようなセンターにしていきたい」とその抱負を述べられました。理論と応用、そして蝶のような美しいインスピレーションが場を共にする、創造的なセンターの光景が想像されます。「お昼に他分野の先生と会って気軽に話ができる生研だからこそ、数学が役立つ場を見出すことができるんです」という先生のお話に、生研ならではの知的交流の文化を感じました。

(太田 浩史)